

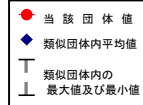
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和2年度

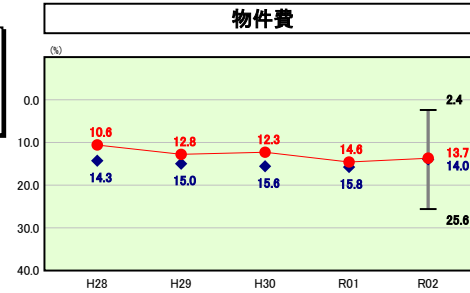
福島県大熊町

## 経常収支比率の分析

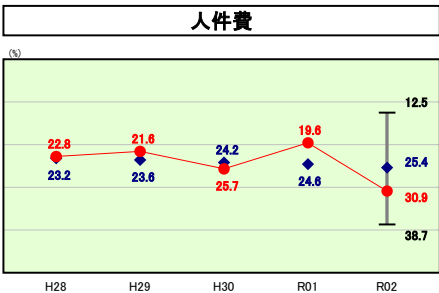
|        |            |                 |          |                         |   |
|--------|------------|-----------------|----------|-------------------------|---|
| 人口     | 10,265     | 人(R3.1.1現在)     | 実質赤字比率   | -                       | % |
| うち日本人  | 10,223     | 人(R3.1.1現在)     | 連結実質赤字比率 | -                       | % |
| 面積     | 78.71      | km <sup>2</sup> | 実質公債費比率  | -2.4                    | % |
| 歳入総額   | 35,701,478 | 千円              | 将来負担比率   | -                       | % |
| 歳出総額   | 34,838,422 | 千円              | 市町村類型    | H28 I-O H29 I-O H30 I-O |   |
| 実質収支   | 603,557    | 千円              | (年度毎)    | R01 I-O R02 I-O         |   |
| 標準財政規模 | 4,948,021  | 千円              |          |                         |   |
| 地方債現在高 | 0          | 千円              |          |                         |   |



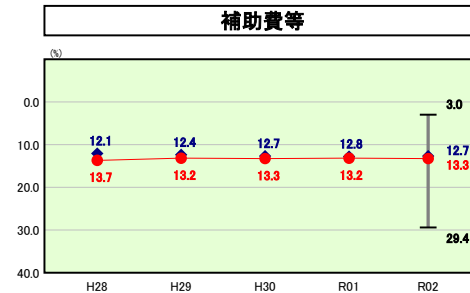
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和2年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



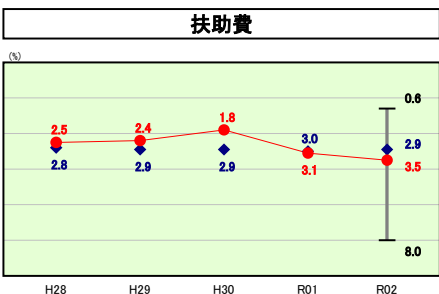
**物件費の分析欄**  
 前年度比で0.9ポイント減となっている。類似団体平均とほぼ同じ水準ではあるが、今後は、復旧・復興整備事業による公共施設維持管理等の経費が増加することが見込まれる。



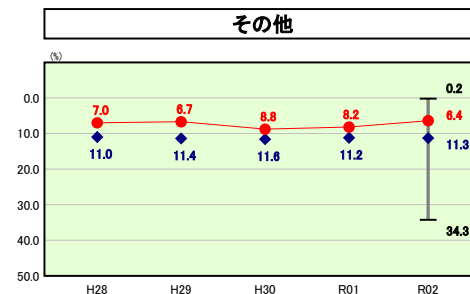
**人件費の分析欄**  
 復興関係業務が増加していることにより、会計年度任用職員の増、新規採用職員よりもコストの高い中途採用職員の増などに加え超過勤務手当も増加しており、前年度比11.3ポイント増となった。業務等に応じて、適正な人事管理に努める。



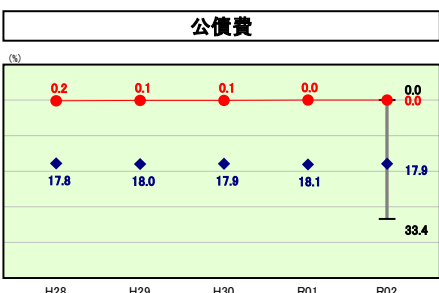
**補助費等の分析欄**  
 ほぼ前年度並みだが、類似団体よりも若干高い数値となっている。今後は明確な基準により、事業に対して補助金を交付しているかなどについて確認しながら、不適切な補助金は見直しや廃止を行う方針である。



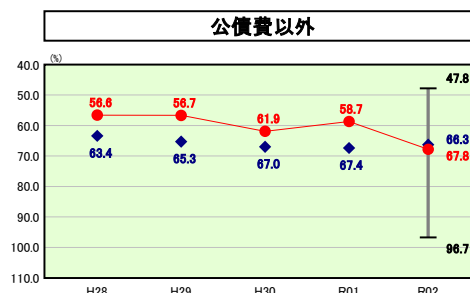
**扶助費の分析欄**  
 扶助費については前年度比0.4%増となった。震災後、福祉サービス経費が増加しているが、資格審査等により適正なサービスを提供できるように努める。



**その他の分析欄**  
 震災後、類似団体よりも数値が下回っているのは、公営企業会計である下水道事業等への繰出金が減少したためである。今後は帰町が進むにつれ繰出金が増加していくと見込まれる。



**公債費の分析欄**  
 地方債については償還が終了している。当面、起債の予定はない。今後も現在の状況を維持するよう事業の適正な執行に努める。



**公債費以外の分析欄**  
 前年度までは類似団体よりも低い水準で推移していたが、今年度は類似団体を若干上回った。帰町し、復興のため施設整備等を行い、その管理費等の経費が増加している。今後も多くのインフラ施設の整備を計画していることから、今後も高い数値が予測される。経費削減のため効率的な財政運営に努める。